

16 国土強靱化の加速と地方創生回廊及び観光立国の実現 提言

我が国では、毎年のように全国各地で大規模自然災害が相次ぎ、特に近年はその様相が頻発化・激甚化している。こうした中、国においては「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を決定し、地方においてもこれを積極的に活用しながら、ハード・ソフト両面で災害予防の徹底に取り組んでいるところである。

しかしながら、予想を上回る速度で気候変動の影響が顕在化しており、南海トラフ地震などの大規模地震発生切迫性も高まっていることから、この5か年加速化対策を効果的、計画的に講じていく必要がある。

他方、新型コロナウイルス感染症は、サプライチェーン等の社会経済活動へ多大な影響を与えるとともに、生活、仕事、住居等において、大都市への集中から地方への分散へと、価値観の変化をもたらしている。ポストコロナを念頭に、国土強靱化も図りつつ地方創生を加速前進させていくためには、地方創生回廊を構築し、地域間格差の是正や分散を支える多核連携型の基盤づくりを戦略的に進めることが必要不可欠である。

また、新型コロナウイルス感染症は観光産業にも多大な影響を及ぼしている。観光事業者は旅行者の減少によりかつてない危機に瀕しており、事業継続のための支援が必要である。また、インバウンドの先行きは依然不透明であるが、回復後に向けた旅行者、地域住民ともに安心が得られる環境づくりと、インバウンド回復までの国内観光需要の確保を進める必要がある。加えて、観光地経営に取り組むDMO等の自主的かつ安定的な運営に対する支援も重要である。

以上のような認識のもと、下記について強く提言する。

記

1 国土強靱化の加速

気候変動の影響等を踏まえた流域治水対策や切迫する大規模地震発生に備えた地震・津波対策、長寿命化計画に基づくインフラ老朽化対策など、事前防災及び減災のための国土強靱化に向け、都道府県はもとより市区町村においても国土強靱化地域計画の策定を進めてきたところである。今後この計画等に基づき、必要性や効果の高い箇所から優先的かつ計画的に実施できるよう、必要な予算・財源を当初予算において安定的に確保すること。

2 地方創生回廊の実現

高規格道路のミッシングリンク解消、暫定2車線区間の4車線化等を図るための財源確保、リニア中央新幹線や整備新幹線の整備促進、新幹線の基本計画路線から整備計画路線への格上げなど、地方創生回廊を早期に実現すること。

3 観光立国の実現

観光事業者の事業継続への手厚い支援や国内旅行の需要喚起策を継続的に実施するとともに、安全・安心、快適な旅行の提供のための受入環境整備を強化すること。

訪日外国人受入における、税関・出入国管理・検疫（C I Q）に対する最先端技術の活用など、感染リスクの水際対策を強化するとともに、インバウンド需要の回復に資する政府主導のプロモーションや情報発信を強化すること。

DMO等が積極的に施策を実施するための必要かつ十分な財源を確保すること。